

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成29年7月13日

評価者：川崎市上下水道局

指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	川崎市入江崎余熱利用プール
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務の概要	入江崎総合スラッジセンターの余熱を利用した入江崎余熱利用プールの管理運営を行う。
指定管理者	名称：株式会社明治スポーツプラザ 代表者：代表取締役 後藤聖治 住所：川崎市幸区堀川町580番地 電話：044-540-1082
所管課	上下水道局サービス推進部サービス推進課（内線：46112）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等																																			
1	市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。	<p>1 利用実績について</p> <p>(1) 開館日数</p> <p style="text-align: right;">(単位：日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館予定日数</td> <td>325</td> <td>325</td> <td>325</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td>326</td> <td>325</td> <td>327</td> <td>327</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 開館予定日数：年末年始の休館(12/29-翌1/5)と施設及び設備の修繕に伴う休館(2月)と保守点検に伴う休館(年4日)を除いた日数</p> <p>開館日数は、概ね開館予定日数を上回った。</p> <p>(2) 利用人数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入場者</td> <td>39,703</td> <td>39,059</td> <td>40,246</td> <td>42,616</td> </tr> <tr> <td>水泳教室参加者</td> <td>38,602</td> <td>33,897</td> <td>30,138</td> <td>32,041</td> </tr> <tr> <td>入場者数合計</td> <td>78,305</td> <td>72,956</td> <td>70,384</td> <td>74,657</td> </tr> </tbody> </table> <p>水泳教室参加者数は、習い事の多様化などにより減少傾向にあるものの、一般入場者数は、増加傾向にある。</p> <p>2 評価について</p> <p>施設の維持管理・運営業務、安全管理・監視業務、教室等の開催について、仕様に基づいて適正に業務が行われた。また一般利用者の要望に応えた無料レッスン等も実施し、十分な量及び質のサービスを提供できた。</p>		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	開館予定日数	325	325	325	325	開館日数	326	325	327	327		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	一般入場者	39,703	39,059	40,246	42,616	水泳教室参加者	38,602	33,897	30,138	32,041	入場者数合計	78,305	72,956	70,384	74,657
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																																	
開館予定日数	325	325	325	325																																	
開館日数	326	325	327	327																																	
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																																	
一般入場者	39,703	39,059	40,246	42,616																																	
水泳教室参加者	38,602	33,897	30,138	32,041																																	
入場者数合計	78,305	72,956	70,384	74,657																																	
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<p>市民の健康の増進を図るとともに、市民の福祉の向上に寄与することを目的として関係法令、条例、規則及び要綱を遵守し、プールを安全かつ円滑に運営している。</p> <p>利用者は体力づくり、健康維持、水泳技術の向上等といった理由でプールを利用しており、アンケート調査においても満足度は概ね良好であることから市民の健康の増進、福祉の向上という当初の事業目的は達成することができた。</p>																																			

3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	公の施設としての役割を念頭に置き、安全を第一条件として人員配置しており、人材開発と育成の取り組みの中で、スタッフの資質向上に向けて充実した研修が行われた。仕様書で定められた施設の安全点検についても適切かつ継続的に実施した。また、就業前CPR（心肺蘇生法）訓練やAED（自動体外式除細動器）の使用訓練を行うなど、スタッフのスキルアップを図り、安全・安心の面で適正な運営がなされた。
4	更なるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期及び随時のモニタリングを行い利用者ニーズを事業に反映させる取組を実施することにより利用者の満足度を維持・向上させ、新規利用者の獲得をする必要がある。 ・利用者アンケート等において施設の老朽化に関する意見が寄せられており、定期的な補修工事や改修工事が必要となる。

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																												
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	日報と月次統計資料（プールの利用者数、水泳教室参加人数・受講状況）等の提出により収入や利用者数の確認等を行っている。また、突発的な問題が発生した場合も業務改善や指示等を適切に行うとともに、必要に応じて現地に赴くなど、適正に対処しており適切なマネジメントが行われている。毎月、モニタリングを実施し、指定管理業務の実施状況を確認するとともに緊急時の連絡網を作成し、連絡体制の確認を行っている。																																																												
2	制度活用による効果はあったか。	<p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">《市収入》</th> <th style="text-align: center;">H25</th> <th style="text-align: center;">H26</th> <th style="text-align: center;">H27</th> <th style="text-align: center;">H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般使用料収入</td> <td style="text-align: right;">11,743,300</td> <td style="text-align: right;">11,376,010</td> <td style="text-align: right;">11,750,250</td> <td style="text-align: right;">11,815,320</td> </tr> <tr> <td>回数券売上収入</td> <td style="text-align: right;">2,918,300</td> <td style="text-align: right;">3,252,000</td> <td style="text-align: right;">3,365,000</td> <td style="text-align: right;">3,828,630</td> </tr> <tr> <td>水泳教室受講料</td> <td style="text-align: right;">50,285,500</td> <td style="text-align: right;">49,285,880</td> <td style="text-align: right;">43,910,360</td> <td style="text-align: right;">45,889,720</td> </tr> <tr> <td>附帯的業務収入</td> <td style="text-align: right;">1,260</td> <td style="text-align: right;">861</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">収入合計</td> <td style="text-align: right;">64,948,360</td> <td style="text-align: right;">63,914,751</td> <td style="text-align: right;">59,025,610</td> <td style="text-align: right;">61,533,670</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">《市支出》</th> <th style="text-align: center;">H25</th> <th style="text-align: center;">H26</th> <th style="text-align: center;">H27</th> <th style="text-align: center;">H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理委託料</td> <td style="text-align: right;">99,154,648</td> <td style="text-align: right;">99,692,344</td> <td style="text-align: right;">98,086,396</td> <td style="text-align: right;">99,130,265</td> </tr> <tr> <td>入退場管理システム賃借料</td> <td style="text-align: right;">398,916</td> <td style="text-align: right;">410,304</td> <td style="text-align: right;">410,304</td> <td style="text-align: right;">410,304</td> </tr> <tr> <td>備消耗品等</td> <td style="text-align: right;">2,922,612</td> <td style="text-align: right;">1,463,994</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支出合計</td> <td style="text-align: right;">102,476,176</td> <td style="text-align: right;">101,566,642</td> <td style="text-align: right;">98,496,700</td> <td style="text-align: right;">99,540,569</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">収支状況</th> <th style="text-align: center;">△37,527,816</th> <th style="text-align: center;">△37,651,891</th> <th style="text-align: center;">△39,471,090</th> <th style="text-align: center;">△38,006,899</th> </tr> </thead> </table> <p>本施設は、立地場所による交通の利便性の悪さ、プール以外の附帯設備がなく新たな事業展開が困難なこともあり、開業以来収支はマイナスの状況となっているが、指定管理者制度導入前に比べ、収支は改善している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度導入前（平成8年度～平成16年度） 収入 69,062,313円 支出 117,299,474円 収支△48,237,161円（平均） ・指定管理者制度導入後 第1期（平成17年度～平成19年度） 収入 71,699,776円 支出 105,036,755円 収支△33,336,979円（平均） 第2期（平成20年度～平成24年度） 収入 76,056,270円 支出 102,376,425円 収支△26,320,155円（平均） 	《市収入》	H25	H26	H27	H28	一般使用料収入	11,743,300	11,376,010	11,750,250	11,815,320	回数券売上収入	2,918,300	3,252,000	3,365,000	3,828,630	水泳教室受講料	50,285,500	49,285,880	43,910,360	45,889,720	附帯的業務収入	1,260	861	0	0	収入合計	64,948,360	63,914,751	59,025,610	61,533,670	《市支出》	H25	H26	H27	H28	管理委託料	99,154,648	99,692,344	98,086,396	99,130,265	入退場管理システム賃借料	398,916	410,304	410,304	410,304	備消耗品等	2,922,612	1,463,994	0	0	支出合計	102,476,176	101,566,642	98,496,700	99,540,569	収支状況	△37,527,816	△37,651,891	△39,471,090	△38,006,899
《市収入》	H25	H26	H27	H28																																																										
一般使用料収入	11,743,300	11,376,010	11,750,250	11,815,320																																																										
回数券売上収入	2,918,300	3,252,000	3,365,000	3,828,630																																																										
水泳教室受講料	50,285,500	49,285,880	43,910,360	45,889,720																																																										
附帯的業務収入	1,260	861	0	0																																																										
収入合計	64,948,360	63,914,751	59,025,610	61,533,670																																																										
《市支出》	H25	H26	H27	H28																																																										
管理委託料	99,154,648	99,692,344	98,086,396	99,130,265																																																										
入退場管理システム賃借料	398,916	410,304	410,304	410,304																																																										
備消耗品等	2,922,612	1,463,994	0	0																																																										
支出合計	102,476,176	101,566,642	98,496,700	99,540,569																																																										
収支状況	△37,527,816	△37,651,891	△39,471,090	△38,006,899																																																										

3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	水泳教室参加者数は減少傾向にあり、教室運営等の見直しや改善が必要である。
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<p>本施設は、入江崎総合スラッジセンターに併設された市民利用施設であり、汚泥を焼却する際に発生する余熱を有効利用した公の施設に位置付けられる。</p> <p>指定管理者制度の活用により、今回の指定期間中も、当初の事業目的を概ね達成しながら、計画した量及び質のサービスが提供されている。また、安全・安心の面でも大きな問題がなく、所管課によるマネジメントも適切に行われている。プール事業に一定のノウハウを有する民間の活力を利用していくことが合理的である。</p> <p>公の施設の管理手法には、直営によるほか、民間委託や指定管理者制度が考えられるが、制度導入後の実績や指定管理者が有する施設運営に係るノウハウを活用できることを踏まえると、指定管理者制度の優位性が認められることから、当該制度を引き続き活用することが適当であると考えます。</p>

4. 今後の事業運営方針について

入江崎余熱利用プールは今後も市民の健康の増進を図るとともに、市民の福祉の向上に寄与するための市民利用施設として、引き続き指定管理者制度の活用による事業運営を継続する必要がある。